

# 第1章 3 未来へつなぐ

おおかわ 大川小学校で起きたことを忘れず、かけがえのない命を守るために、わたし 大川にはなにができるのでしょうか。

覚えていてくれたら

- 青い空
- 赤い屋根
- 緑の山
- 北上川のほとり

- 桜の下で食べた給食
- 図書室には絵本がたくさんあって
- 中庭では一輪車の練習
- 校庭の土俵で相撲大会
- あの冬には池のそばに
- ソーラーのツリーができたばかり

- 稲刈り
- 植樹
- 牡蠣むき
- シイタケ栽培
- 楽しく学び遊ぶ子どもたちと先生
- 地域の人たちに見守られて

ここはそんな場所だったんだ  
覚えていてくれたらいいな



ひがしにほんだいしんさい 東日本大震災では、とうほくちほう 東北地方をはじめとしたたいへいようえんがん 太平洋沿岸の多くの地域に、つなみ 津波によるひがい 被害が発生しました。

いしのまき 石巻市立大川小学校では、この津波により、きょうしやくいん 児童74人ときょうしやくいん 教職員10人がぎせい 犠牲になりました。

津波は北上川をさかのぼって、海から4km離れたこの場所にもおし寄せたのです。

2階建ての校舎の屋根に達するほどの津波でした。

卒業式の1週間前でした。



(※地図データは震災前のもの)



きょう 今日と同じあした 明日が来るとは限りません。いつものけしき 景色、いつもの教室、「ただいま」や「ありがとう」ともだち 友達、家族、町、……。けっしてあたりまえではないことをあらためて気づかされました。

私たちにできることはなんだろう。

かけがえのない命を守るために。  
未来へつなぐために。



自然に囲まれた大川小学校 (被災前)



校舎を囲む桜並木 (被災前)